2022年度入学試験問題・参考作品

外国人留学生特別選抜・帰国生特別選抜

造形学部

002　日本画学科
003　油絵学科油絵専攻
004　油絵学科版画専攻
005　彫刻学科
006　視覚伝達デザイン学科
008　工芸工業デザイン学科
009　空間演出デザイン学科
010　建築学科
011　基礎デザイン学科
012　芸術文化学科
013　デザイン情報学科

造形構想学部

014　クリエイティブイノベーション学科
015　映像学科

帰国生特別選抜

017　造形学部全学科共通

編入学選抜

018　造形学部
021　造形構想学部

修士課程選抜

022　造形研究科［A日程］
026　造形研究科［B日程］
032　造形構想研究科［A日程］
033　造形構想研究科［B日程］

博士後期課程選抜

034　造形研究科・造形構想研究科

※参考作品は、入学試験合格者の中から選定しました。
※受験生の文章は原則として原文のまま掲載しましたが、誤字脱字は一部訂正しました。
※2023年度入学試験の詳細は、大学webサイトで必ず確認してください。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

日本画学科 Japanese Painting

鉛筆デッサン（3時間）

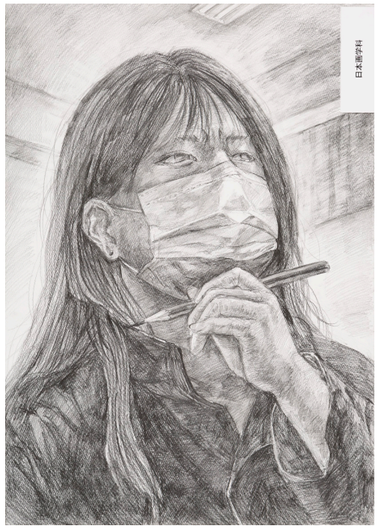
【問題】
自分の身辺からイメージすることを自画像と構成して描きなさい。

［条件］
答案用紙は縦横自由。

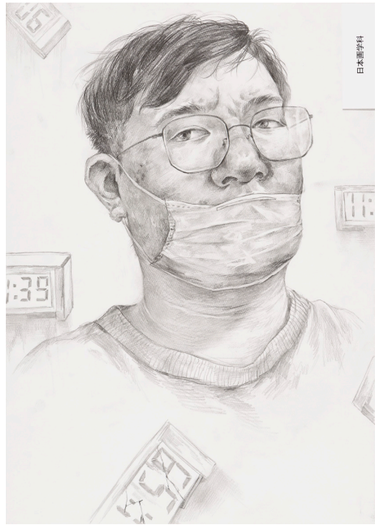
［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（A2画用紙）×1枚
3. 鏡×1個
4. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

出題意図と評価のポイント
「自分の身辺からイメージすることを自画像と構成して描きなさい。」という出題である。コロナ禍の生活の中での身辺のイメージと現実の自分の肖像をどのように構成し、絵画として表現できるかを期待して出題した。普段の生活の中でのイメージを期待して出題したが、受験生は自分が置かれている試験場の状況を描いた作品が多かったように思われる。基礎的な描写力、構成力を評価のポイントに、絵画表現として総合的に判断した。

●面接
日常会話に必要な日本語などのコミュニケーション能力に加え、なぜ本学の本学科への入学を希望したのか。入学後、そして卒業後の将来における展望をどのように考えているか。それに向けての意欲は見られるか。面接では、これらを誠意をもって伝える熱意や姿勢が審査の基準となっている。また、鉛筆デッサンの制作意図などの質問を行い日本語能力を含め総合的に判断している。



教員コメント
全体的な構成や描写力は充分だとは言えないが、空間全体を意識した表現が優れている。特に視線や手の構成などに空間意識を感じるが、天井の入れ方を含めた構成をもう少し意識するとより表現としてよくなったようにも思える。画面全体に手を入れて表現に意欲的に取り組んでいることを評価した。



教員コメント
自己の表情を少し誇張したかような自画像に優れた表現力を感じた。普通は表面的な表情を追うだけになりやすい自画像であるが、この作品では眉間の皺やその表情だけではなく顔の量感、塊感など実在感も充分で魅力的である。時間の経過を暗示していると思われる数字のイメージも面白いとは思うが、自画像の魅力が強くそれを評価した。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

油絵学科油絵専攻 Painting / Painting Course

デッサン（選択）（6時間）　油絵（選択）（6時間）　水彩（選択）（6時間）

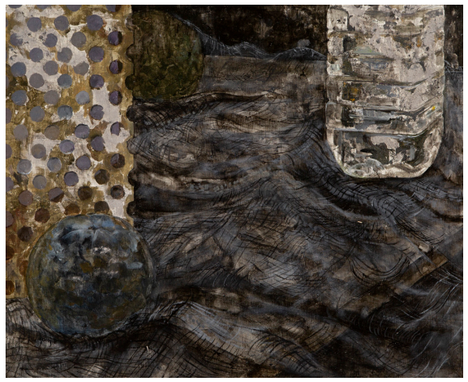
【問題】
机上のモチーフを自由に描きなさい。

［条件］
1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

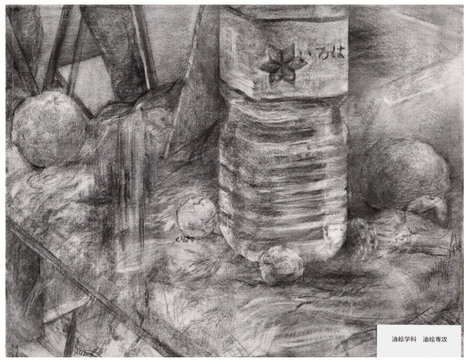
［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙
   - デッサン：木炭紙または画用紙から選択×1枚
   - 油絵：F15号キャンバス×1枚
   - 水彩：画用紙×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

出題意図と評価のポイント
青いネットが敷かれた台の中央に白い小ぶりのポリタンクを置き、そこに対になるようにアルミのパンチングボードが立てかけられている。その周囲にオレンジを配し、対角線状に2リットルの水のペットボトルを置いた。一見して鮮やかな色彩が目を引くオーソドックスな構造のモチーフだが、白いポリタンクの陰影が乏しいことで、まるで中心に空洞があるようなとらえ難さを感じるかもしれない。また、まともに描けば煩雑になりそうな青いネット、パンチングボードの穴のとらえ方も絵の方向性を左右するだろう。
評価としては、まずモチーフに対する観察力、ものや空間のとらえ方、という基本的なことと共に、何に興味を持ってその特性を自分に引き寄せて表現しているかを見た。描写力、構成力も重要だが、それ以上に、多少問題があっても伸び伸びと描き切る大胆さ、自由さも評価したい。

●面接
まず提出作品について説明をしてもらい、さらに作品制作全般のことや、好きな作家についてなど、日頃考えていることを知りたい。また本学へ入学してからどのようなことを学びたいのか、将来の展望や興味関心事などを自分の言葉で述べてほしい。面接では日本語でのコミュニケーション能力を重視している。教員側の問いかけを理解し、それに対して自分の考えをしっかり述べることができるか、ということも審査のポイントである。



教員コメント
荒々しいタッチで小気味よくペットボトルや果物、パンチングボード等のモチーフの具体性をとらえながらも、抽象性の高い大胆で力強い画面として表現したところを評価した。褐色の下地塗りと黒と白の絵の具の3色だけではあるが、黒い描線と3色絵具の重なりを巧みに使い分け、光の表情をよく観察して描き出した抑揚のある表現は魅力的だ。そこから発展させて画面を2分割するような黒と白の対比を持った画面の構築は見事である。



教員コメント
水の入ったペットボトルのキラキラとした現象と、その光の影響を受けている台と台上の果実たちのありようを描こうとしており、画面の隅々にまで光の刹那的な流動感を感じる作品である。ペットボトルの左側には描き損じた後のような不明な垂直線があるが、描き場所を探っている行為にも見え、それほど気にはならないし、動きを強調した画面の中でむしろ効果的な役目となっている。よく見ると画面の右側にある果物も透明に透けたような描き方をしており、作者はモチーフ全体から感じられる存在の危うさや儚さのようなものを表現したかったのではないだろうか。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

油絵学科版画専攻

Painting / Printmaking Course

デッサン（選択）（6時間）　油絵（選択）（6時間）　水彩（選択）（6時間）

【問題】
机上のモチーフを自由に描きなさい。

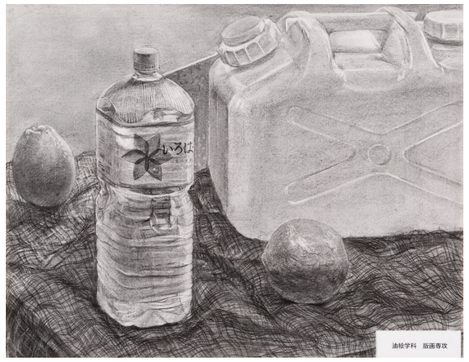
［条件］
1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙
   - デッサン：木炭紙または画用紙から選択×1枚
   - 油絵：F15号キャンバス×1枚
   - 水彩：画用紙×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

出題意図と評価のポイント
青いネットが敷かれた台の中心に白い小ぶりのポリタンクを置き、そこに対になるようにアルミのパンチングボードが立てかけられている。その周囲にオレンジを配し、対角線状に2リットルの水のペットボトルを置いた。一見して鮮やかな色彩が目を引くオーソドックスな構造のモチーフだが、白いポリタンクの陰影の乏しいことで、まるで中心に空洞があるようなとらえ難さを感じるかもしれない。また、まともに描けば複雑な青いネット、アルミのパンチングボードのとらえ方も絵の方向性を左右するだろう。評価としては、まずモチーフに対する観察力、ものや空間のとらえ方、という基本的なことと共に、何に興味を持ってその特性を自分に引き寄せて表現できるかを見た。描写力、構成力も重要だが、それ以上に、多少問題があってものびのびと描ききる大胆さ、自由さも評価したい。

●面接
将来の明確なヴィジョンを持ち、日本文化に対する関心の高さや自分の考えていることを日本語で述べることができる語学能力を重視している。加えて、協調性と前向きに研究に取り組む意欲の高い人物を期待している。

教員コメント
作者の個性が表れた木炭の使い方から、感性の鋭さが伝わる魅力的なデッサンである。形態把握についてはやや観念的で正確性がないが、周囲の空間を描くことで臨場感が生まれている。全体にわたって描写力に関しては不足しているのだが、執拗に描く筆致の迫力が作者の感情表現につながり、説得力のある画面となっている。



教員コメント
木炭の階調に気を配り、モチーフの色のトーンを大切に扱って描いている。構図にも工夫の跡が見られるが、的確に配置されてはいないために空間の広がりに欠ける点が惜しい。また、モチーフ個々の形態描写にも狂いがある。しかしながら、画面全体からは、対象を素直に観察しようとする姿勢がうかがえ、好感が持てるデッサンとなった。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

彫刻学科

Sculpture

鉛筆デッサン（3時間）

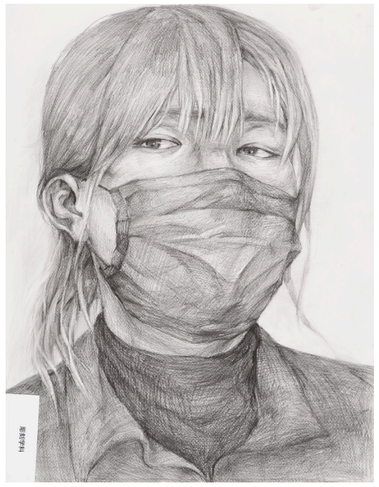
【問題】
自画像を描きなさい。

［条件］
1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

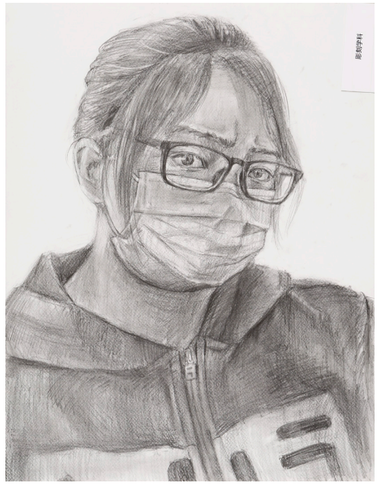
［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（木炭紙大画用紙）×1枚
3. 鏡×1個

出題意図と評価のポイント
もっとも身近な存在である自分の頭部を、どの様に解釈するか。その解釈が客観的な観察に基づいて描写されているかを評価のポイントとした。

●面接
制作を続ける根気と好奇心、探究力がある人物を求めている。授業に必要なコミュニケーションを取ることが可能か、自分の作品がこれまでどのようにステップアップしてきたかを重視している。



教員コメント
マスクで覆われた顔のボリューム、わずかに見える首の複雑さ、さまざまなものに覆われた内側にあるものを率直に見ていこうとする強い意志が感じられる回答だ。画面に大きく顔を入れる空間構成もこの表現に適した表現であり、硬質さを感じる髪の表現も緻密で緊迫感のある空間をつくり出している。



教員コメント
表現主義的な方向性に走らず、観察描写に徹した誠実なアプローチがデッサンに反映されていて好感が持てる。部分描写に偏りがちな面は否めないが、頭部をひとつの形として把握しようとしている姿勢をうかがうことができる。以上を評価点とした上で、首から胴体へのつながりと形の描写は物足りない。更なる観察が必要である。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

視覚伝達デザイン学科

Visual Communication Design

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】
モチーフをデッサンしなさい。

［条件］
1. 答案用紙は縦横自由。
2. モチーフは必ずしも全体を描かなくて良い。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

出題意図と評価のポイント
幾何形態の基本である円柱の七輪の形態の正確なとらえ方や、薪の持つ荒々しい表面の皮や、ささくれ立った割れた面への興味、また、これらをどこまで描き込めるかといった点、自然物の野菜であるネギを、他のモチーフと対照的にどのように瑞々しく描くかといった点を出題の意図とした。

●面接
外国人留学生・帰国生ともに高度な日本語コミュニケーション能力を有していること。また、本学科の教育方針、科目（デザイン領域）、カリキュラム、授業内容についてしっかりと認識・理解していること。その上で、志望動機、目標、目的意識、学習意欲を持ち合わせ、それらを自身の言葉（表現）で伝えられることを期待する。学力、デッサン、デザインの入学選抜における判断基準は、基本的に一般選抜と変わることはない。基礎学力は、言語や情報、感覚や感情に対する理解力および伝達能力のために必要不可欠の条件である。

教員コメント
長ネギや薪を難しい位置からよくとらえ、全体的にまとまりがあるデッサンである。馴染みのない七輪の細部の表情も的確にとらえ、床面の広がりや後方の空間も感じさせる秀作である。

教員コメント
薪の表情が的確で、その質感がよく表現されている。長ネギが、自然物であるという点の描写が弱い。七輪の鉛筆のタッチがやや不揃いな点などが改善されれば、さらによくなっただろう。

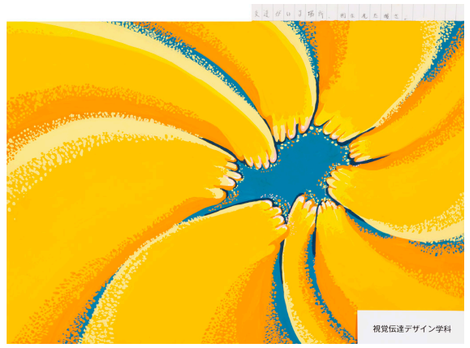
デザイン（3時間）

【問題】
「場所」という言葉には、広くて深い意味が含まれています。例えば、国や地域などの物理的・空間的な「場所」や、家族・友人関係・学校やクラスなど関係性や所属を表す「場所」もあります。また、近年ではデジタル空間（SNSやゲームなど）にも「場所」という概念は広がっています。あなたが関わってきた様々な「場所」について思い出してみてください。それらを踏まえて「あなたにとって最も大事な場所」をテーマに、そのイメージをデザインとして表現しなさい。
画面右上の与えられた枠内に、その場所の何をどのように表現しているかを20字以内で記入しなさい。

［条件］
1. 使用する色数は自由。
2. 描画画面は与えられた紙全体とする。ただし、紙の余白は白色とみなすので、全面を塗りつぶさなくてもよい。
3. 答案用紙は横長で使用すること。
4. 右上枠内の文字書き込み部分は塗りつぶさないこと。

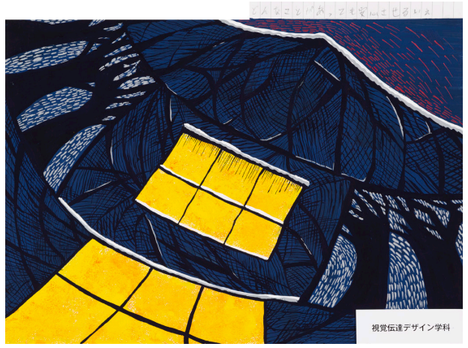
［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3ケント紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

出題意図と評価のポイント
「デザイン」では、多様な背景を持った受験生が、「場所」という言葉から自身の経験を想起し、具体的なイメージへと変換することを求めた。自身のアイデンティティを見返しながらも色彩・形態・構成へと展開し、テーマを独自に解釈し見る側に共感を与える力は入学後も共通して求められる力である。その基礎となる発想力、造形力を総合的に評価した。



友達がいる場所、囲まれた暖かさ。

教員コメント
画面中央に向かって渦を巻いていく手の表情が「囲まれた暖かさ」をうまく表現している。テーマに対する構成のアイデアがやや凡庸にも見えるが、細かく表現された点描や手の形など、随所に作者のこだわりを感じる作品である。



どんなことがあっても安心させるいえ

教員コメント
家の窓から見える灯りの表現と、その周囲の寒色で統一された荒々しい表現の対比によって「安心」「不安」の関係を成立させている。画面全体が湾曲したように見える構成も効果的であり、「安心」とは逆のイメージを敢えて表現することによって、メッセージを象徴的に見せている優れた作品である。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

工芸工業デザイン学科

Industrial, Interior and Craft Design

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】
机上のモチーフをデッサンしなさい。

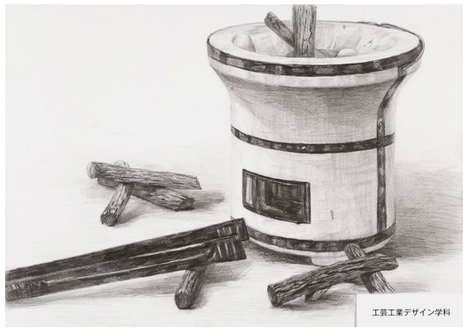
［条件］
答案用紙は縦横自由。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

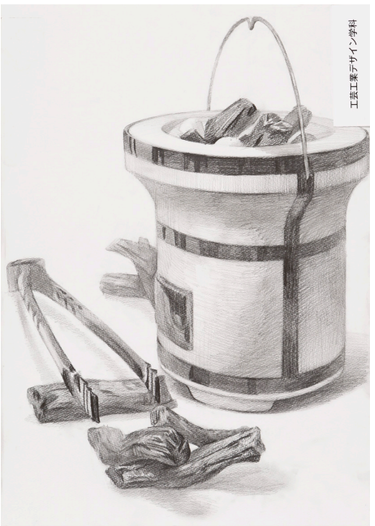
出題意図と評価のポイント
基本的なデッサン力を見ることが主であるが、特に本学科ではさまざまな形態・素材のプロダクトを扱うので、モチーフのプロポーションや質感をより的確にとらえ、正しいパースで描く力を見るための出題となっている。

●評価ポイント
1. モチーフをよく観察し、正確に描写する力
2. 適切な構図を定める力
3. 空間を認識し、適切なパースで描く力
4. 異なる質感（金属、木炭、珪藻土）を丁寧に描き分ける力
5. 仕事量（制限時間内にどれだけの作業ができるか）

●面接
美術、デザインに対する関心の高さや将来の目標、日本への関心などについて、日本語で自分の考えや意見を述べることができる能力を重視している。加えて、自主性や広い視野で学習や研究に取り組む意欲の高い人物を期待している。



教員コメント
力作である。構図の取り方が難しいアングルで少し工夫が欲しいところだが、その難点を十分に補える描写力がある。形をとらえる力や質の表現はもとよりひとつひとつ丁寧に描く姿勢は他を圧倒した。



教員コメント
空間を美しく表現できた作品。一見すると構図が取りやすい位置で有利に思えるが、実は長いトングのプロポーションを正確にとらえながら空間の奥行きを表現することは大変難しい。作者の実力の高さが十分にうかがえる。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

空間演出デザイン学科

Scenography, Display and Fashion Design

デザイン（3時間）

【問題】
太めの透明なセロテープと、細めでマットなセロテープの2本のセロテープをいかようにでも組み合わせ、新たな形を構築し、テクスチャーと反射を検証しながら、自由に平面構成をしなさい。

［条件］
1. 用紙は横長で使用すること。
2. 白、黒、グレーで表現すること。
3. テープ類を入れていた袋はモチーフに含めない。
4. 黒絵具はモチーフに含めない。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3ケント紙）×1枚
3. 透明セロテープ（18mm幅）×1本
4. マットセロテープ（12mm幅）×1本
5. 黒絵具 ×1個
6. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

出題意図と評価のポイント
二つの異なるテープをモチーフに素材感や使用した時の違いなどを、モノクロームで平面構成する。限られた色で表現することで質感の本質をとらえられるか、日常のものから独自の視点を発想できるか、それらを人に伝えられているか等を評価。塗りや道具の技術なども評価している。

●面接
日常の中で刺激を自ら見つけ、考え、発信していく力があるか。他者を理解し、どう自分の考えを伝えられるか。自分と社会との在り方を模索していこうとする人物を期待する。セルフプロデュースできる力があり、魅力ある人物かどうかも見ていく。日本語でこれらをコミュニケーションできる力も大切である。

教員コメント
モチーフの使用過程での特徴を表現するという他にはない発想がよい。テープを剥がした時に起きる現象も細かくとらえ、且つそれをデザインに落とし込んでいるのも評価された。右側の描写はより一層の工夫が必要。

教員コメント
ダイナミックな構図でモチーフの形状の変化を表現できている。二つの質感の違いをとらえ背景の色とともに的確に伝えられるものとなっている。同心円や塗りなど細かい描写が正確、繊細であったならなおよい。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

建築学科 Architecture

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】
配布された紙製アングル（L-50mm×50mm、H=100mm）と、想定モチーフを、自由に配置構成してデッサンしなさい。

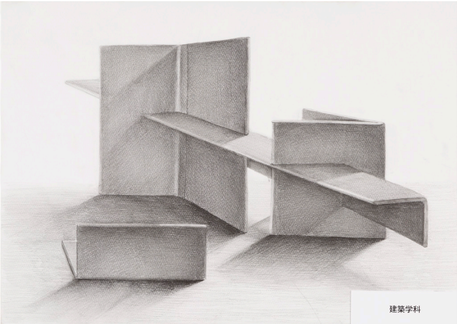
［想定モチーフの要件］
①配布モチーフの一辺の長さを2倍にしたアングル（L-100mm×100mm、H=100mm）
②配布モチーフの高さを3倍にしたアングル（L-50mm×50mm、H=300mm）
③配布モチーフの一辺の長さと高さを変えたアングル（L-Amm×Amm、H=Bmm）

［条件］
1. 配布モチーフ及び想定モチーフ①から③は、各1ずつ描くこと。
2. 想定モチーフ③のA, Bは自由に設定してよい。
3. アングルの角度は直角とする。
4. モチーフ同士は離れても、接しても、貫入してもよい。
5. 答案用紙（B3画用紙）は縦横自由。
6. 目隠しカードの上に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

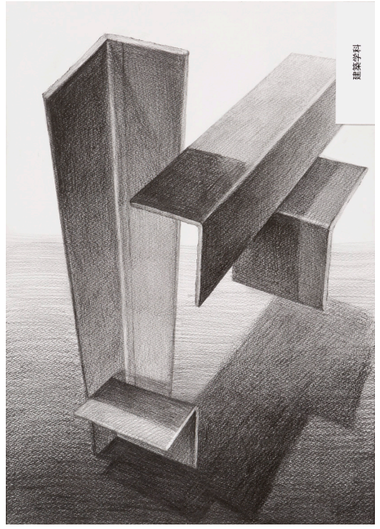
［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. 紙製アングル（L-50mm×50mm、H=100mm）
4. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

出題意図と評価のポイント
配付したモチーフに加え、想定モチーフの諸々の条件を正しく理解した上で空間構成しているかをチェックポイントとした。この条件は日本語能力を測る側面も含む。配付モチーフが比較的単純で描きやすい形状のため、空間構成における感性と描写・表現力が重要な評価ポイントになっている。

●面接
日本語により自身の考えを伝え、教員の質問や説明を理解することが重要であるので、日本語能力を評価の重要なポイントにおいている。その上で、建築・環境への関心、発見力、想像力、思考力などを評価している。



教員コメント
全体としてバランスよく安定したモチーフ同士の関係がつくられており、丁寧なタッチで描かれたデッサンである。



教員コメント
俯瞰した構図と構成は、光と影のコントラストによってモチーフの浮遊感が表現され、シンプルながら力強さを感じるデッサンである。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

基礎デザイン学科 Science of Design

基礎造形（3時間）

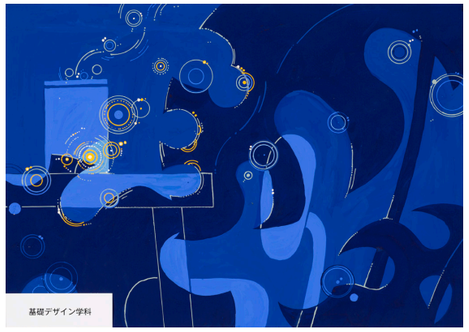
【問題】
「自分の部屋」をモチーフに、幾何学図形で構成し、描きなさい。

［条件］
1. 答案用紙は横長で使用すること。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3ケント紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

出題意図と評価のポイント
コロナ禍において、圧倒的に過ごす時間が増したと思われる「自分の部屋」は、自分自身を反映した鏡であるとも言える。それぞれの視点、興味、性格などを幾何学図形で描くことを意図して出題した。日常の中でどのような視点を持っているのか、また、それらをどのような造形に置き換えるのか、その独自性を積極的に評価した。

●面接
デザインやアートに対する興味の対象や自身の目標などについて、日本語で考えを伝える能力と学習や、研究に取り組む視点と意欲を重視している。柔軟であり、他の学生にも豊かな刺激をもたらしてくれる人物を期待している。



教員コメント
全体を青の色彩で統一しながら、机の上に置かれた温かい飲み物やそこから立ち上る湯気を幾何学図形でうまく表現している。不安な内面やその中での一時のやすらぎなど、情感が表現されている。

教員コメント
散らかった室内がコミカルに楽しい色彩で表現されている。不思議と退廃的な感情ではなく、これからの期待感を感じさせられる。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

芸術文化学科 Arts Policy and Management

小論文（3時間）

【問題】
別紙の文章を読み、筆者の主張を要約した上で、作品を鑑賞することについてのあなた自身の考えを、自分の体験を踏まえて述べなさい。

［条件］
1. 解答用紙の1行目に、適当なタイトルを記述しなさい。
2. 文字数は、タイトルを含め、800字以内とする。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 別紙×1枚
　出典：柳宗玄著『かたちとの対話』（岩波書店、1992年）より抜粋
3. 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

別紙

山道や野原を歩いていると、ふと足元に小さい花を見掛けることがある。思わず足を止めてよく見ると、小さいながら色鮮やかに形整い、まことに見事である。大きい青空の下で、それとして精一杯に咲いている。人が見ようと見まいと、花は花弁を大きく開いて、青空に、太陽に語りかけている。虫が来れば、虫と楽しく会話をするのであろう。

ふと気が付くと、花は私にも語りかけているのである。人間の言葉や人間の概念ではなく、何か別の手段で、ほのかな香のように、私に語りかける。私は何かを感じ取り、私も花に問いかける。そして私は、未知の思いがけぬことを、花から色々と教わる。

花でなくても、森の小径に落ちている一枚の葉でもよい。夏の朝の、はかなく消えゆく草の露でもよい。心を澄ませて相対すれば、すべての存在は、私たちに語りかけてくれるのである。私たちが問いかければ、答えてくれるのである。

まして人間の作ったものは、土中から発掘された単純な石器や小さい土器の破片でも、さまざまのことを語ってくれる。私たちが謙虚にそして熱心に問いかければ、小さい破片であっても、その作者あるいは作者を取巻く環境、人間の生活、風土など、多くの事を教えてくれるであろう。

芸術作品には、声を張上げまくし立てるかのように過剰な説明をするものがある。西洋の近世の歴史画や説話画がそれである。写実的な肖像画は、一見して静けさを保っているように見えるものでも、作者は一から十までを説明しようと多弁を弄しているのである。それらは、見る者が問いかける余地もない。

これに対して、表現が控えめなもの、素朴なもの、あるいは多少とも観念的なものは、一般に、作品としては寡黙であるとしても、問いかけに対しての答え方は静かであり、語りかける言葉は深さと拡がりをもつことが多い。そのような作品との対話は、多少の時間を要するとしても、学ぶことが多くて楽しいものである。

出題意図と評価のポイント

出題は、心理学者である筆者が、芸術の普及と人との関係について論じている文章である。文中に示された、具体的事例と筆者の考えを元に、自分の体験から適切なテーマを設定し、具体的に論じられるかを問うた。評価のポイントは以下の通り。
- 別紙の文章を適切に要約しているか。
- 問題の主旨を理解し、適切なテーマが設定されているか。
- 自分の具体的な経験について、客観的な視点を持っているか。
- 自分の具体的な経験と、出題文の内容を照らしながら論じているか。
- 適切なタイトルがつけられているか。
- 文字数が適切であるか。

上記を総合的に評価した。

●面接
以下の評価のポイントを総合的に評価した。
- 志望に至った経緯と動機を的確に話すことができるか。
- 本学科の教育理念や授業内容をよく調べているか。
- 入学後の学習や将来の目的意識が明確であるか。
- これまでの経験で得たアートやデザインに対する考えを話すことができるか。
- 日本語でコミュニケーションを十分取ることができるか。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

デザイン情報学科 Design Informatics

情報表現テスト（2時間）

【問題】
配付された、着彩のための描画材（A～Eの5種類）は用途によって使い分けられています。これらについて、手で持つ部分の軸の太さや着色剤の特徴などについて考えながら以下の問いに答えなさい。
- A＝商品名「六角軸色鉛筆 赤」／メーカー：三菱鉛筆
- B＝商品名「クレヨン LY-P#19 あか」／メーカー：サクラクレパス
- C＝商品名「ソフトパステル RED 175」／メーカー：ホルベイン工業
- D＝商品名「油性マーカー マッキー極細 MO-120-MC-R 赤」／メーカー：ゼブラ
- E＝商品名「ユニ・ポスカ 細字丸芯 PC-3M あか」／メーカー：三菱鉛筆

問題1.
指定の枠内に、これらの描画材の用途や性質、使いやすさなどを分析し、わかりやすく図示しなさい。なお、配付された描画材を図の作成のために使ってもよい。

問題2.
描画材にとって重要だと考えられることを日本語400字以内で述べなさい。

［条件］
描画材を入れていた袋はモチーフに含めない。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚
4. 描画材A
5. 描画材B
6. 描画材C
7. 描画材D
8. 描画材E

出題意図と評価のポイント

「情報表現テスト」は日本語の問題文を正しく理解し、何を問うているか的確にとらえ、回答できているかが、何よりも重要なポイントである。2022年度の問題は同じ色の6種類の描画材を実際に試し描きしながら、それぞれの描き心地や描きやすさを比較し、なぜ違いが出るのか分析的に解答することができるかを出題意図としている。解答の評価は比較分析した結果をわかりやすく図で説明し、合わせて日本語の文章で表現できているか総合的に見ていった。理想的な解答としては、描画材の違いを同時比較できるようにレーダーチャートやグラフによって示していることを想定していたが、残念ながら出題者が意図した解答に至った答案はほとんどなかった。しかし、その中でもわかりやすく6種類の描画材を並列し、比較できるフォーマットで図説を試みた答案もあった。

●面接
本学科に関心を持ち受験した明確な理由と、入学後の学習方針や目指す領域について、事前に提出された志願確認書に基づき、質疑応答を行った。また、志願理由以外の話題についても、質問を正しく理解し、自分の考えや意見を述べることができるか審査している。特に自然な日常会話や大学の授業やグループワークなどで使う言葉の聞き取りの力も重要なポイントとしている。なお、限られた時間内では十分に審査することが難しいため、ポートフォリオや作品は評価対象とはしていない。

今、現代社会の発展によって、描画材も発展した。様々な色と様々な描画材が出た。これについて、私はどんな描画材を選ぶことが良いのかをよく気にしている。描画材を選ぶにあたって何が重要なのか考えた。

私が描画材について、一番気にしているところは、描画材を使った時、汚くなるところが洗いやすいということだ。例えば、私は美術学生で、色彩構成をよく練習する。もし、顔料が私の服に付いて、どんな方法でも洗えないとしたら、本当に気分が悪くなる。さらに、顔料を洗うことができないのなら、部屋も汚くなる。もし、描画材の顔料が洗いやすければ、人は絵をかくことに勇気が出るだろう。だから、私は、使いやすく、洗いやすい描画材をとても気に入っている。それなら、私が絵を描くことの技術がもっと上達すると思うのだ。

したがって、私は描画材が洗いやすいことが重要だと考えている。

教員コメント
描画材の外観をスケッチし、その商品名、試し書き、特徴を任意のフォーマットを設定し、図説できている。残念だった点は、図のタイトルが「赤い世界」と記されている点で、出題意図として描画材を赤色に統一した理由は、色ではなく材質や描き心地に着目してもらいたかったためである。

描画材というのは、やはり大切な物だと思います。

例えば、木の葉の揺れを通じて、目に見えない風も見えるようにできます。私達の表現したい物は、描画材を使って、絵を通じて見えるようにでき、他の人に見せることができます。

そして、さまざまな描画材には、違う性質があるので、用途も違います。例えば、鉛筆の色は薄いので、物の明暗が描きやすく、デッサンなどに使うのに合っています。マーカーは耐水性に優れているだけでなく、発色が良いので、グラフ、図表の作成に使えば楽になります。

とりあえず、描画材の特性を理解して、違う場面ごとに、「その時何を使えば良いか」という気持ちを持ちながら、絵を描くのは重要だと思います。間違ってしまったら、大変になって、魂のない作品になってしまうかも知れません。

教員コメント
描画材の外観イラスト、商品名、メーカー、試し書き、描きやすさ、用途を並列し、比較しやすいようにレイアウトにも配慮しまとめることができている。自分なりの描き心地を一言コメントとして記述している点から、日本語での説明能力が高いこともわかる。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

クリエイティブイノベーション学科

Creative Innovation

小論文（1時間30分）

【問題】

全世界で食品ロスの問題が大きくなっている中、食料不足問題はますます深刻になってきています。あなたの身の回りで感じている食品ロスを取り上げ、あなたは何をするのか、あなたができるのか、具体的解決策を論じなさい。（800字以内）

［条件］

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。
3. 受験番号は上詰めで記入すること。

［配付物］

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

出題意図と評価のポイント

身近な課題設定のもとに、幅広い社会的視点から俯瞰する基礎的能力と、そこに自分なりのクリティカルな視点を持ち込むことによって得られる独自のテーマ性や、潜在している課題発見力を重視するとともに、設問に応じた日本語能力（読解力や論理展開力等）を評価ポイントとする。

●面接

美大における本学科特有の主旨・特色やカリキュラム構成を正しく理解し、グローバルな視点での未来や社会に対する新たなデザイン課題に対して積極的であり、グループワーク等では協調性を発揮できること。さらに、自身の将来的な夢や本学で学びたい授業分野、目指したい進路等について明確な目的意識や自分なりの考えを提示できることが望ましい。

外国人留学生
帰国生
特別選抜

映像学科

Imaging Arts and Sciences

感覚テスト（3時間）

【問題】

下記の言葉から想起する場所のイメージ、あるいは出来事のイメージを解答欄に絵と文章で表現しなさい。

二度と行けない場所

［条件］

1. 絵と文章を必ず用いること。ただし絵と文章の配置および割合は任意とする。
2. 解答欄の文字は1マス1字とする。
3. 答案用紙は横長で使用すること。

［配付物］

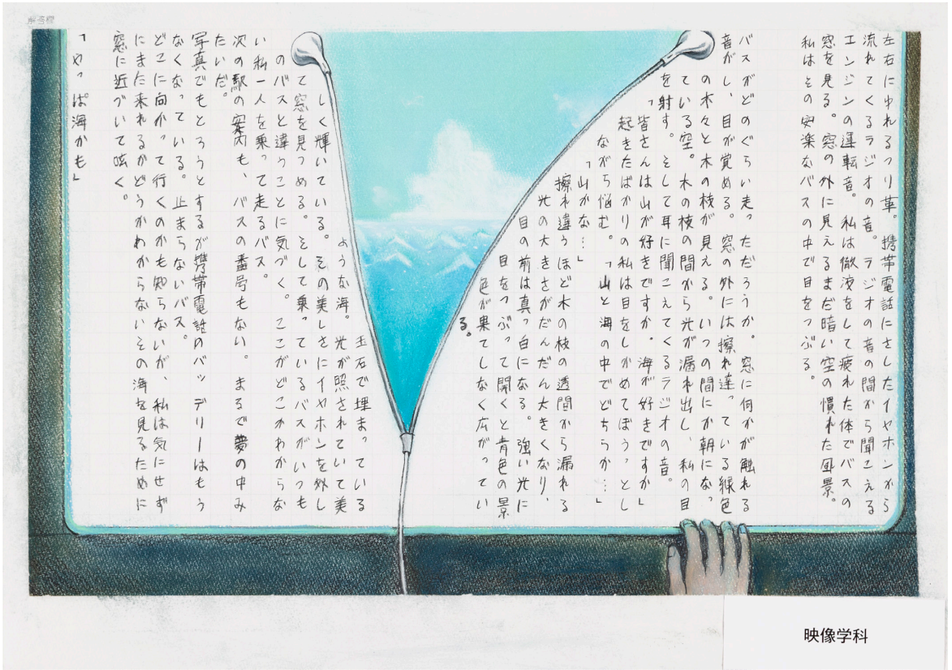
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

出題意図と評価のポイント

場所や出来事のイメージを創り出す力と、それを文章と絵で表現する力から、映像的な資質や感性を読み取りたいという出題意図である。評価ポイントとしては、問題で与えられた言葉を解答のイメージ表現の主たる手がかりとしているか、イメージを絵と文章で表現するにあたって、絵と文章の役割を的確に分担させているか、絵と文章のレイアウトが調和的に構成されているか、等である。

●面接

映像の分野は、文章力やデッサン力、コミュニケーション能力、数学的能力等、さまざまな資質のどこからでもアプローチが可能なことが特徴である。したがって、現在の自分が得意なことを、「感覚テスト」の解答の説明を通して、あるいは本学科で学びたいことや方向性を答える形で、明らかにすることが求められる。当然なこととして、日本語の聞き取りと会話の能力も重視する。



教員コメント

夜行バスで移動中の明け方、時とともに推移する光、イヤフォンから伝わるラジオの声と振動を伴うエンジン音、疲れた身体が夢現で感受する時空間が、文章と視覚デザインの多層的構成で見事に描写されている。外部の音や光が夢の思考に作用する様はリアルで、超現実的な青い海の輝きを窓外に垣間見る鮮烈なイメージを体感させて秀逸である。

教員コメント

暗いアパートの一室に横たわる男は、隣室の老人の壁越しの生活音や時々階下からベランダの簾越しにうかがい知る様子に、父と二人故郷で過ごした少年時代の記憶と別れを想い、外からの現実音で我に返る。カーテンを開き現れる空の果てには、二度と戻れぬ過去と未来が透けて見える。時間と空間を行き来する主体の繊細な感性描写や展開意識、構図も秀逸。

教員コメント

近く閉館する水族館には、人混みと喧騒、繰り返されるアナウンス、眩しい照明があふれ、鑑賞も癒しもなく押し流される様に移動する先で、時を超えて変わらず、暗闇の静かな広い水槽で発光しながら舞い泳ぐクラゲの神秘的な光景に再会する主人公。印象的なシーンを際立たせる時間的構成や演出、人物のシルエットが仄明かりに浮かぶ引きの視点がいい。

帰国生
特別選抜

造形学部全学科共通

小論文（1時間30分）

【問題】

「作者の過去の行為によって作品が評価されるべきではない」という意見に対して、あなたは賛成ですか、反対ですか。その理由とともにあなたの考えを述べなさい。

なお、解答は700字以上800字以内で書きなさい。また、「です・ます」調ではなく、「である」調で書くこと。

［条件］

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

出題意図と評価のポイント

帰国生特別選抜の小論文問題では、ある意見に対して賛成か反対かの立場を論述する問題を課している。これは、根拠に基づき論理的に自己の主張を記述できるという論理的記述力を測るためである。したがって、論理的な記述がなされているかを第一に評価する。また、文法、文体等の言語的な要素も小論文として適切なものであるかも評価している。

※造形学部全学科、作品・ポートフォリオ（両方、またはどちらか）の提出、面接の試験あり。
※油絵学科油絵専攻・版画専攻、工芸工業デザイン学科、芸術文化学科は実技試験なし。

日本画学科

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】
あなたがこれから制作したいと思う作品のイメージに、自画像を加えて描きなさい。

［条件］
答案用紙は縦横自由。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（A2画用紙）×1枚
3. 鏡×1枚
4. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

彫刻学科

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】
自画像を描きなさい。

［条件］
1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」示す矢印「↑」を書くこと。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（木炭紙大画用紙）×1枚
3. 鏡×1枚

視覚伝達デザイン学科

デザイン（3時間）

【問題】
モチーフ（A3画用紙1枚、A3厚手トレーシングペーパー1枚、オーガンジー布1枚）と懐中電灯があります。これらを使って、モチーフの素材と懐中電灯の光によってできるかたちや現象を観察し、そこからあなたが想起する物語のワンシーンや、記憶の中にある情景、抽象的なイメージなどをスケッチと文章で自由に表現し、タイトルをつけなさい。

［条件］
1. 想起するものごとは2つとする。それぞれを、スケッチ、タイトル、文章、で表現すること。
2. 2つのものごとは、答案用紙に自由に構成すること。
3. タイトルは20字以内、文章の文字数は自由。
4. 与えられた紙は、カッター・はさみ・マスキングテープを利用して自由に変形させてよい。
5. 与えられたモチーフ（A3画用紙1枚、A3厚手トレーシングペーパー1枚、オーガンジー布1枚）と懐中電灯は描いても描かなくてもよい。
6. 2枚の画用紙のうち1枚は、モチーフを観察する際に下に敷く台紙として利用すること。
7. マスキングテープはモチーフではない。
8. 答案用紙は横長で使用すること。
9. タイトル、スケッチ、文章の記述は、鉛筆を使用すること。色鉛筆は使用不可。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（A2画用紙）×1枚
3. LED懐中電灯×1個
4. A3画用紙×2枚（うち1枚は机上の台紙とする）
5. A3厚手トレーシングペーパー×1枚
6. オーガンジー布×1枚
7. マスキングテープ×1巻
8. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚

空間演出デザイン学科

デザイン（3時間）

【問題】
「におい」という言葉から自由に発想を展開し、立体構成しなさい。

［条件］
1. 作品タイトルを台紙（B3スチレンボード5mm厚）右下に明記すること。
2. 配付された材料は任意に使用すること。（すべて使用しなくてもよい）
3. 配付された用紙を自由に加工して立体作品を作り、台紙（B3スチレンボード5mm厚）上に立体構成すること。
4. 配付された両面テープは接着剤としてのみ使用すること。
5. 台紙は横長で使用すること。
6. 着彩は任意とする。
7. 下書き用紙と包装材は作品に使用しないこと。

［配付物］
1. 試験問題
2. B3ケント紙×3枚
3. B3ボール紙×3枚
4. B3スチレンボード（5mm厚）（白）（台紙用）×1枚
5. 両面テープ×1個
6. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

編入学選抜

造形構想学部

建築学科

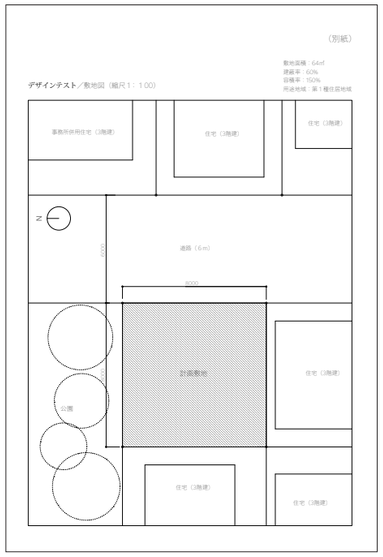
デザインテスト（3時間）

【問題】
与えられた敷地図（別紙）に、下記の条件で、住宅を設計しなさい。

［**条件**］
1. 敷地条件
   a. 敷地面積：64m^2
   b. 接道：東6m
   c. 高低差：敷地、道路、隣地は、高低差のない平坦地
   d. 用途地域：第1種住居地域（建蔽率60%・容積率200%）
   e. 周辺状況：比較的狭い敷地に3階建て住宅が密集している地域
2. 設計条件
   a. 延床面積：90m^{2}以上
   b. 家族：夫婦＋子供2人（小学生・中学生）の計4人
   c. 駐車場：普通車1台
   d. 構造：構造は自由
3. 答案用紙は縦横自由

［**要求図書**］下記の内容を答案用紙に記載すること。
1. 設計意図を示すタイトルを付けること。
2. 配置図兼1階平面図・各階平面図（縮尺：1／100）
3. 断面図：1面以上（縮尺：1／50）
4. 外観スケッチ：1カット以上
5. 内観スケッチ：1カット以上
6. 計画概要（建築面積、延床面積、構造種別）を答案用紙に記載すること。

［**配付物**］
1. 試験問題
2. 別紙（敷地図）×1枚
3. 答案用紙（A2ケント紙）×1枚
4. 下書き用紙（A3トレーシングペーパー）×3枚



基礎デザイン学科

小論文（1時間30分）

【問題】
仮想空間と現実空間、ジェンダー、機械と人など、昨今、境界線が曖昧になっています。
あなたが考える「境界線」について、デザインの観点から論じなさい。

［**条件**］
1. 解答用紙の1行目に、適当なタイトルを記述しなさい。
2. 文字数は、タイトルを含め、600字以内とする。

［**配付物**］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

デザイン情報学科

小論文（1時間30分）

【問題】
1964年の東京オリンピックでは、20競技のピクトグラムが作られた。
そして2021年に開催された東京オリンピックでは33競技50種のピクトグラムが、パラリンピックでは22競技23種のピクトグラムが作られた。
さらに「動くスポーツピクトグラム」として、動きのあるものも発表された。
この事実を踏まえた上で、現在でのピクトグラムのあり方について思うところを論じなさい。

［**条件**］
1. 原稿用紙の1行目に15字以内のタイトルを記入し、2行目から解答文を記入すること。
2. 文字数は、タイトルを含め、800字以内とする。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

［**配付物**］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

クリエイティブイノベーション学科

選考方法

活動報告書の提出、面接の試験

映像学科

選考方法

作品の提出（動画作品または写真作品）、面接の試験

美術専攻
美学美術史コース

小論文（2時間）

【問題】
美術作品は時間をどのように表現することが可能であろうか。
具体的な作品を取り上げて論じなさい。(1,200字以内)

[条件]
1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

外国語（英語）（1時間）

【問題】
以下の英文を日本語に訳しなさい。
※英文は非掲載とします。

[配付物]
1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚
   出典：John Gage, Colour and Meaning, London, 1999, p.13.

専門基礎（筆記試験）（1時間）

【問題】
次の事項の中から任意に5つを選び、各事項の説明を解答用紙に簡潔に記述しなさい。
1 アロイス・リーグル／2 河原温／3 コンスタンティヌス帝の凱旋門／4 ジオット・ディ・ボンドーネ／5 遮光器土偶／6 聖林寺十一面観音菩薩立像／7 松林図屏風／8『抽象と感情移入』／9 抽象表現主義／10 バーミヤン大仏(アフガニスタン)／11 原弘／12 バルビゾン派／13 ピーテル・パウル・ルーベンス／14 備前焼／15 ミメーシス／16 朦朧体／17 文部省美術展覧会(文展)／18 病草紙／19 留園(中国)／20 レディメイド

[配付物]
1. 試験問題
2. 解答用紙×1セット

美術専攻
芸術文化政策コース

小論文（2時間）

【問題】
別紙の文章は、「デザインに哲学は必要か」古賀 徹編からの抜粋である。この著者の意見を要約し、その見解に対するあなたの考えを1,200字以内で述べなさい。
＊プラグマティズム：実用主義
※別紙は非掲載とします。

[条件]
1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]
1. 試験問題
2. 別紙×1枚
   出典：古賀徹編『デザインに哲学は必要か』、武蔵野美術大学出版局、2019年、27頁17行目〜29頁6行目
3. 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

外国語（英語）（1時間）

【問題】
以下の英文を日本語に訳しなさい。
※英文は非掲載とします。

[配付物]
1. 試験問題
   出典：Karsten Schubert, The Curator's Egg, Ridinghouse, 2009, pp.10-11.
2. 解答用紙×1枚
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

デザイン専攻
視覚伝達デザインコース

小論文（2時間）

【問題】
「デザイン」という言葉は、19世紀末から20世紀初頭を起点とした西洋の考え方を背景に使われてきた。日本・中国・韓国といった東アジアの「デザイン」は、その西洋の論法を規範とすることで進展してきたといえる。衣食住、文化・芸術・教育・商業・工業・工芸・情報……などさまざまな分野で展開された色や形などの具体的な成果物とその考え方は、高性能で機能的、便利で豊か、経済的で高品質が掲げられ、社会環境と人々の生活を満たし潤してきた。
しかしながら20世紀末頃、それまで発展をし続けてきた西洋文化主導のデザインの作法や論法に陰りが見え始めた。そしてほぼ同時期から、東アジアの人々は、自国の文化を見つめ直し、自国のアイデンティティに沿ったデザインを、改めて捉え直しはじめた。東アジア各国それぞれは、今現在、西洋文化主導のデザインをどのように捉えており、どのような立場で関係を持とうとしていると思うか。歴史的視点をふまえながら、現在の問題点や未来への展望を、あなた自身の視点で記述しなさい。(1,200字以内)

[条件]
1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 原稿用紙の1行目にはタイトルを記入し、2行目から解答文を記入すること。
   タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

デザイン専攻
建築コース

即日設計（3時間）

【問題】

与えられた敷地図（別紙）に、下記の条件で、設計事務所＋住宅を設計しなさい。

［**条件**］

1. 敷地条件
   a. 敷地面積：49m^2
   b. 接道：東10m（歩道付）、北4m
   c. 用途地域：近隣商業地域（建蔽率80%・容積率300%）
   d. 周辺状況：店舗、事務所、マンション、アパート、住宅などが混在している。
2. 設計条件
   a. 延床面積：140m^{2}以上（建蔽率80%、容積率300%）
   b. 計画内容：設計事務所（50m^{2}以上）、住宅（90m^{2}以上）
   c. 住宅：家族（夫婦）
   d. 構造：コンクリート造又は鉄骨造

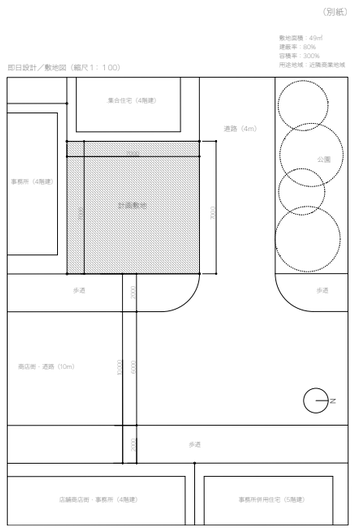
［**要求図書**］

下記の内容を答案用紙に記載すること（答案用紙は縦横自由）

1. 設計意図を示すタイトルを付けること。
2. 配置図兼1階平面図・各階平面図（縮尺：1／100）
3. 断面図：1面以上（縮尺：1／50）
4. 外観スケッチ：1カット以上
5. 内観スケッチ：1カット以上
6. 計画概要（建築面積、延床面積、構造種別）を答案用紙に記載すること

［**配付物**］

1. 試験問題
2. 敷地図（別紙）
3. 答案用紙（A2ケント紙）×1枚
4. 下書き用紙（A3トレーシングペーパー）×3枚



小論文（英語含む）（2時間）

【問題】

別紙の英文は、建築家中村拓志（1974年東京生まれ）が設計した、千葉県の海が見える高台に建つ住宅「House C 地層の家」の解説文である。この文を読んで以下の問いに答えなさい。

(1)この英文を日本語に訳し、(1)用解答用紙に書きなさい。

(2)あなたが、この住宅を使うことができるとしたら、どのような生活をするか？

建築家、環境デザイナーとしての視点に立って、たとえば家族構成、住宅以外の用途に用いるとすれば機能や設備、使用する頻度などを含めて、具体的に説明しなさい。（原稿用紙に縦書き600字以内）

注）添付の写真・断面を参考にすること。なお、氏名欄は全て記入すること。

※別紙は非掲載とします。

［**配付物**］

1. 試験問題
2. 別紙×4枚（英文1枚、写真2枚、断面図1枚）
   出典：『The Japan Architect』114号、新建築社、2019年、30頁〜33頁
3. (1)用 解答用紙×1枚
4. (2)用 原稿用紙×1枚
5. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

デザイン専攻
デザイン情報学コース

外国語（英語）（1時間）

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。＊解答用紙のみ提出しなさい。

※英文は非掲載とします。

［**配付物**］

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚
   出典：David Kadavy, Design for Hackers: Reverse Engineering Beauty, Wiley, Chichester, 2011, p.236

小論文（2時間）

【問題】

ドイツの美術史家ウィルヘルム・ヴォリンガー（Wilhelm Worringer）の著作に『抽象と感情移入 様式心理学への一つの寄与』（1908年、邦訳書は1953年刊）がある。

テオドール・リップス（Theodor Lipps）が提唱した西洋古典芸術を主な対象とする「感情移入」衝動に、古代人や非西洋において顕著な不安を克服するための「抽象」衝動を対置させ、美術の歴史は「抽象」と「感情移入」という二つの精神的態度が交換・変遷する過程だとする学位論文である。ここでは、日本のマンガ、アニメ、ゲーム等の現在のクリエイティブの特質を、自分なりに解釈した「抽象」と「感情移入」に関連づけて論述しなさい。（1,200字以内）

［**条件**］

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。
3. タイトルは原稿用紙の1行目に20字以内で記入し、2行目から解答文を記入すること。
   タイトルは指定字数に含む。

［**配付物**］

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

美術専攻
日本画コース

素描（6時間）

【問題】
現在の社会情勢の中で、これから制作したいイメージを自由にデッサンしなさい。

［条件］
答案用紙は縦横自由。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（木炭紙または画用紙から選択）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

小論文（2時間）

【問題】
あなたの作品制作において、最も参考になった美術史上の作家または作品を挙げ、その造形的な特徴を記述しなさい。また、なぜ参考になるのか、どのような点を学んだのか、理由や影響を具体的に説明しなさい。（800字以内）

［条件］
1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

美術専攻
油絵コース

小論文（2時間）

【問題】
美術作品の制作において、偶然性はどのように作用すると思いますか。（800字以内）

［条件］
1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

美術専攻
版画コース

小論文（2時間）

【問題】
版画にはどのような可能性があると思いますか。
あなたのこれまでの体験を踏まえて、自分の考えを述べなさい。
（800字以内）

［条件］
1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

美術専攻
彫刻コース

デッサン（6時間）

【問題】
与えられた用紙の中に、これから展開しようとする自己の作品を実物大で描きなさい。
なお、全体が入りきらない場合は、主要部を描くこと。

［条件］
1. 描画材料は木炭、鉛筆、コンテ（選択自由、併用可）。
2. 答案用紙（画用紙）は縦横自由。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚

小論文（2時間）

【問題】
現代において、彫刻作品が物として存在することの意義について考えるところを述べなさい。（800字以内）

［条件］
1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

美術専攻
美学美術史コース

小論文（2時間）

【問題】
美術史は「漫画」を対象とすべきだろうか。肯定か否定か、いずれかの立場を明らかにした上で、肯定する場合は研究上の課題を、否定する場合はその論拠を、それぞれ具体的に述べなさい。（1,200字以内）

［条件］
1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

外国語（英語）（1時間）

【問題】
下の英文は、高階秀爾著Japanese Art in Perspective、第6章The Principle of Ornamentation の冒頭の部分である。全文和訳しなさい。
※英文は非掲載とします。

［配付物］
1. 試験問題
   出典：Syūji TAKASHINA, Japanese Art in Perspective, Translated by Matt Treyvaud,Tokyo, 2021, p.77.
2. 解答用紙×1枚

専門基礎（筆記試験）（1時間）

【問題】
次の事項の中から任意に5つを選び、各事項の説明を解答用紙に簡潔に記述しなさい。
1 阿弥陀来迎図／2 アントワーヌ・ヴァトー／3 石岡瑛子／4 織部焼／5 記号論／6 新印象主義／7 退廃芸術／8 高松塚古墳／9『知覚の現象学』／10 凍雲篩雪図／11 ハイレッド・センター／12 バガン遺跡群（ミャンマー）／13 麦積山石窟（中国）／14 白馬会／15 パピエ・コレ／16 東山魁夷／17 マイケル・フリード／18 マルクス・アウレリウス帝騎馬像／19 メディチ家／20 六道絵

［配付物］
1. 試験問題
2. 解答用紙×1セット

美術専攻
芸術文化政策コース

小論文（2時間）

【問題】
別紙の文章は、芸術社会学・文化社会学を専門とする吉澤弥生による小論「芸術の社会化」の一部抜粋である。この著者の主張を要約した上でその内容を踏まえて、「芸術の社会化」をめぐる現代の課題について、具体的な事例を取り上げながらあなたの考えを1,200字以内で述べなさい。
※別紙は非掲載とします。

［条件］
1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 別紙×1枚
   出典：吉澤弥生『芸術は社会を変えるか?』青弓社、2011年、7-10頁。
3. 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

外国語（英語）（1時間）

【問題】
以下の英文を日本語に訳しなさい。
※英文は非掲載とします。

［配付物］
1. 試験問題
   出典：Gail Levin, Twenties-century American painting, Sotheby's Publications, 1987, pp.202-204.
2. 解答用紙×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

デザイン専攻
視覚伝達デザインコース

小論文（2時間）

【問題】
私たちの身の回りには様々な「距離」が存在している。物理的な距離や時間的な距離、意味的な距離などがあげられるが、私たちはこうした距離の認識や操作によって豊かなコミュニケーションを成立させてきたとも言える。
以上を踏まえて、「距離」をテーマに視覚伝達デザインの観点から、あなたの考えを1,200字以内で述べなさい。その際、必ず20字以内のタイトルをつけなさい。

［条件］
1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

デザイン専攻
工芸工業デザインコース

構想力テスト（3時間）

【問題】
「風」をテーマに自由にデザインしなさい。

［条件］
1. 答案用紙の①タイトル欄に20字以内の題名を記入すること。
2. 答案用紙の②本文欄にコンセプトを記入すること（400字以内）。
3. 答案用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
4. 構想を伝えるスケッチをスケッチ用紙に描くこと。
5. スケッチ用紙に描くスケッチの点数は自由とする。
6. スケッチ用紙は横長で使用すること。
7. スケッチ用の画材は自由とする。
8. 答案用紙・スケッチ用紙の両方とも提出すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B4）×1枚
3. スケッチ用紙（B3アラベール紙）×1枚
4. 下書き用紙（B4上質紙）×4枚

デザイン専攻
空間演出デザインコース

立体構成（3時間）

【問題】
与えられた素材を用いて、あなたが今もっとも関心を持っているテーマについて自由に表現しなさい。

［条件］
1. 配付されたスチレンボード（3mm厚）、ケント紙を使用して立体をつくり、台紙（スチレンボード5mm厚）上に立体構成すること。
2. 台紙は横長に使用し、制作物を固定のうえ、テーマを台紙右下に明記すること。
3. 着色は任意とする。

［配付物］
1. 試験問題
2. スチレンボード（B3サイズ、3mm厚）×1枚
3. ケント紙（B3）×2枚
4. 台紙用スチレンボード（B3サイズ、5mm厚）×1枚
5. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚
6. スチレンのり×1本

デザイン専攻
建築コース

即日設計（3時間）

【問題】

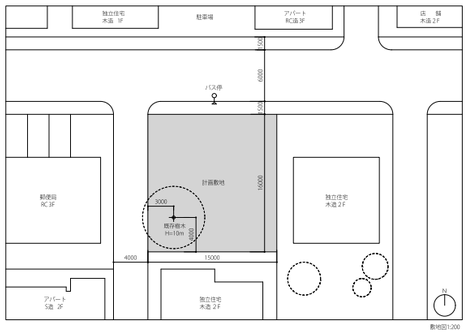
別紙の敷地（敷地図）に、下記の条件で、地域に開く場を持つシェアハウスを設計しなさい。

［条件］

1. 敷地条件
   a. 敷地面積：240m^2（15m＊16m）。敷地内に既存樹木あり。
   b. 接道：北9m（歩道付）、西4m。北側道路沿いにバス停あり。
   c. 用途地域：第2種中高層住居地域（建蔽率60%、容積率200%）。
   d. 周辺状況：街道沿いに店舗、住宅、事業所などが混在する。
2. 設計条件
   a. 延床面積：150m^2～200m^2。
   b. 所要室：個室3室以上（3名以上がシェアする）、住人の共有スペース、地域に開くスペース（用途、規模は自由）。
   c. 駐車スペース：1台。屋外屋内の設定は自由。延床面積に含まない。
   d. 構造形式：自由。
   e. 階数：自由。ただし、建蔽率と高さ制限を遵守のこと。
3. 設計意図を示すタイトルをつけること。
4. 平面図及び断面図1/100、スケッチ、説明文を答案用紙に記載すること。
   1階平面図は配置図を兼ねる。周辺道路や隣地の一部を含む敷地全体を描き、外構も設計すること。
   このほか設計意図を説明するのに必要と考える図を加えてよい。
5. 計画概要（建築面積、延床面積、構造種別）を答案用紙に記載すること。
6. 答案用紙は縦横自由。

［配付物］

1. 試験問題
2. 敷地図（別紙）×1枚
3. 答案用紙（A2ケント紙）×1枚
4. 下書き用紙（A3トレーシングペーパー）×3枚



小論文（英語含む）（2時間）

【問題】

別紙の英文は、数寄屋づくりの代表的な建築家・造園家として知られる小堀遠州（1579～1647）による茶席、孤篷庵　忘筌（こほうあん　ぼうせん）の特徴的なアプローチ部分の解説文である。
この文を読んで以下の問いに答えなさい。
（1）この文を日本語に訳しなさい。
（2）現代の住宅建築にも、客を迎えるアプローチにあえて障害物を設けて、さまざまな効果を演出する手法が採用されている。
添付写真は、現代日本の建築家、前田圭介（1974年生まれ）が設計した、アトリエ、ギャラリーを併設した住宅である。
添付の写真・断面を参考にして、建築家は障害物を設けることで、どのような効果や機能を獲得することができたのでしょうか。あなたの豊かな想像力も加えて具体的に述べなさい。（原稿用紙600字以内）
※別紙は非掲載とします。

［条件］

原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。

［配付物］

1. 試験問題
2. 別紙×2枚
   出典：『建築の日本展：その遺伝子のもたらすもの』、Echelle-1、2018年、72-73頁。
   株式会社UID、ホームページ、photos：Hiroshi Ueda、http://maeda-inc.jp/atelier-bisque-doll/（2021.9.6確認）。
3. （1）用　解答用紙×1枚
4. （2）用　原稿用紙×1枚
5. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

デザイン専攻
基礎デザイン学コース

小論文（2時間）

【問題】

「未来資源」をテーマとして論じなさい。（600字以内）
「資源」は狭義には鉄鉱石や石油など、製造の元となる自然原料を意味しますが、この設問ではこれを広義にとらえ、未来の人々の生活や経済文化を活性させていく源泉となるものを意味し、非物質的なものも含みます。

［条件］

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。

［配付物］

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

外国語（英語）（1時間）

【問題】

以下の文は、Winfried Nöth, Advertising (Handbook of Semiotic)からの抜粋である。
日本語に訳しなさい。
※英文は非掲載とします。

［配付物］

1. 試験問題
   出典：Winfried Nöth, Handbook of Semiotic, Indiana university press, 1990, p.479.
2. 解答用紙×1枚

修士課程
選抜
[A日程]

大学院造形構想研究科

造形構想専攻
クリエイティブリーダーシップコース
[一般方式]

小論文（2時間）

【問題】

「地域におけるパブリックスペース」が持つ意義と課題を複数挙げよ。そのうち最も重要と考えられるものを一つ選び、その理由を述べよ。選んだ要因について、これからの社会における可能性を論ぜよ。（日本語で解答する場合1,200字以内、英語で解答する場合600ワード以内）

[条件]

1. 日本語または英語のどちらか一方のみで解答すること。
2. 日本語で解答する場合は、指定の原稿用紙に記入すること。原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
3. 英語で解答する場合は、指定の英語解答用紙に記入すること。
4. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 英語解答用紙×1枚
4. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

造形構想専攻
映像・写真コース

小論文（2時間）

【問題】

下記の文をふまえて、あなたの思うことを論じなさい。（600字以内、20字以内でタイトルをつけること）

「映画のリアリティーは、空想と現実の境界線上にある曖昧な場所に位置している。」

（哲学者、クレマン・ロセ）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 原稿用紙の1行目にはタイトルを記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

造形構想専攻
クリエイティブリーダーシップコース
[社会人方式]

小論文（2時間）

【問題】

都市における地域コミュニティの弱体化が社会課題となっている。この課題を全体的に整理したうえで、この課題の解決方法について、自身の独自の観点を踏まえて詳しく論ぜよ。

（日本語で解答する場合1,200字以内、英語で解答する場合600ワード以内）

[条件]

1. 日本語または英語のどちらか一方のみで解答すること。
2. 日本語で解答する場合は、指定の原稿用紙に記入すること。原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
3. 英語で解答する場合は、指定の英語解答用紙に記入すること。
4. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 英語解答用紙×1枚
4. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

修士課程
選抜
[B日程]

大学院造形構想研究科

造形構想専攻
クリエイティブリーダーシップコース
[一般方式]

小論文（2時間）

【問題】

日本では、人口減少や都市構造の変化によって生じる問題への対応として、コンパクトシティへの移行が挙げられることがあるが、必ずしもうまくいっていない。その理由をできるだけ網羅的にあげた上で、これに関して検討すべきことや対応策として考えられるものをあげなさい。

（日本語で解答する場合1,200字以内、英語で解答する場合600ワード以内）

[条件]

1. 日本語または英語のどちらか一方のみで解答すること。
2. 日本語で解答する場合は、指定の原稿用紙に記入すること。原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
3. 英語で解答する場合は、指定の英語解答用紙に記入すること。
4. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 英語解答用紙×1枚
4. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

造形構想専攻
映像・写真コース

小論文（2時間）

【問題】

下記の設問について、あなたの考察を述べなさい

（600字以内、タイトルを20字以内で記入すること）

芸術は、私たちを時間の秩序から解放することができるのか？

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

造形構想専攻
クリエイティブリーダーシップコース
[社会人方式]

小論文（2時間）

【問題】

一次産業の就業人口が減った結果、食の自給率が低くなるだけでなく、地域経済、地域の自然の崩壊にも繋がっています。具体的な一次産業を1つあげ、あなたが思う問題点を指摘するとともに、あなた独自の解決方法について論じなさい。

（日本語で解答する場合1,200字以内、英語で解答する場合600ワード以内）

[条件]

1. 日本語または英語のどちらか一方のみで解答すること。
2. 日本語で解答する場合は、指定の原稿用紙に記入すること。原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
3. 英語で解答する場合は、指定の英語解答用紙に記入すること。
4. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 英語解答用紙×1枚
4. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

博士
後期課程
選抜

大学院造形研究科・造形構想研究科

大学院造形研究科
造形芸術専攻

小論文（2時間）

【問題】
以下の設問からいずれか一つを選び1,200字以内で論述しなさい。
なお、選択した設問の番号を原稿用紙の1マス目上部（枠外）に明記すること。

（1）実際の芸術表現をみることは、あなたの制作にどのように関わっているかを記述しなさい。

（2）2020年以降、COVID-19の脅威の拡大は、世界中の文化芸術活動に大きな打撃をもたらし、広義の芸術文化がその存続のために大きな変革が迫られている。コロナ禍前後の日本の文化芸術活動の社会的位置付けを考察し、アートやデザインが果たす役割について、具体的な事例を踏まえてあなたの考えを述べなさい。

［条件：設問（1）（2）共通］
1. 表題はつけなくてよい。
2. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. B4上質紙（下書き用）×1枚

外国語（英語）（1時間）

【問題】
以下の英文を日本語に訳しなさい。
※英文は非掲載とします。

［条件］
辞書の使用を認める

［配付物］
1. 試験問題
   出典：Boris Groys, Art Power, MIT press paperback edition, 2013, p.43
2. 解答用紙×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

大学院造形構想研究科
造形構想専攻

小論文（クリエイティブリーダーシップ）（2時間）

【問題】
（1）あなたの研究にもっとも関連する論文の概要と今後の研究との関連や展開について600字以内で論述しなさい。

（2）以下の設問からいずれか一つを選び1000字以内で論述しなさい。なお、選択した設問の番号を原稿用紙の1マス目上部（枠外）に明記すること。

A.創造性の定義と社会人のための創造性教育の課題とアプローチについて考察しなさい。

B.意味のイノベーションの定義と意味のイノベーションを社会へ活用するための課題とアプローチについて考察しなさい。

［条件：設問（1）（2）共通］
1. 表題はつけなくてよい。
2. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. B4上質紙（下書き用）×2枚

小論文（映像・写真）（2時間）

【問題】
（1）あなたの研究にもっとも関連する論文の概要と今後の研究との関連や展開について600字以内で論述しなさい。

（2）世界のどこかに子供が治める小さな国を作るとしたら、それはどこで、主にどのような理念と施策を掲げるか。あなた以外の国民を6歳から16歳の男女100名と想定し、ビジョンと具体の一部を述べなさい。（1000字以内）

［条件：設問（1）（2）共通］
1. 表題はつけなくてよい。
2. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用すること。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. B4上質紙（下書き用）×2枚

外国語（英語）（1時間）

【問題】
下記は、Martindale, Locher and PetrovによるEvolutionary and Neurocognitive approaches to Aesthetics, Creativity and Artsの一部である。
下線部を全訳してください。
※英文は非掲載とします。

［条件］
人名については、原文のままでよい。

［配付物］
1. 試験問題
   出典：Colin Martindale, Paul Locher, Vladimir M. Petrov ed., Evolutionary and Neurocognitive approaches to Aesthetics, Creativity and Arts, Routledge, 2018, pp.3-5
2. 解答用紙×1枚
3. B4上質紙（下書き用）×1枚

武蔵野美術大学 入学試験問題集 2022
外国人留学生特別選抜・帰国生特別選抜
編入学選抜
修士課程選抜・博士後期課程選抜

発行 | 武蔵野美術大学
〒187-8505
東京都小平市小川町1-736

発行日 | 2022年6月1日
企画・編集 | 武蔵野美術大学 入学センター
TEL：042-342-6038

アートディレクション | LABORATORIES
デザイン | 柳川智之
編集 | 成田敏史
写真撮影 | いしかわみちこ

本冊子の図版及び文章の無断転載を禁ずる。
Copyright©2022
Musashino Art University All Rights Reserved.